



Topics ~循環器診療に役立つ、最新の話~

EVAR後のフォローアップはいつまですればいいのか？

EVAR trial 1により開腹手術と比較して良好なEVARの早期治療成績が報告されています。しかし長期成績はどうなのでしょう。今回はEVARと開腹手術の長期治療成績について紹介していきたいと思えます。

- EVAR trialでは1999年から2004年まで1252例の患者対象にしていますが、今回の報告では、さらに2015年まで追跡期間を伸ばしています。

R. Patel, M.J. Sweeting, J.T. Powell, R.M. Greenhalgh, EVAR Trial Investigators Endovascular versus open repair of abdominal aortic aneurysm in 15-years' follow-up of the UK endovascular aneurysm repair trial 1 (EVAR trial 1): a randomised controlled trial Lancet, 388 (2016), pp. 2366-2374

- 術後4年目以降はEVAR群の方が動脈瘤関連死亡率が増加し、その差は8年目以降で最も有意でありました。さらに、総死亡率については術後6カ月間はEVARの早期効果が有意に認められ、6カ月から8年までは群間で死亡率は同程度でしたが8年以降はEVAR群で患者の死亡率が有意に増加しています。
- 9715人に年の追跡期間中、EVAR群165例で258回のグラフト関連の再介入が行われ、開腹群74例で105回の再介入が行われました。術後の再介入は15年経過するまではいつでも発生しています。

EVARは低侵襲であり開腹手術リスクが高い方にも行える優れた治療ではありますが、定期的な術後のフォローアップが必要な治療でもあります。術前、術後の治療方針に迷われる症例がございましたら、是非ご相談、ご紹介いただければ幸いです。

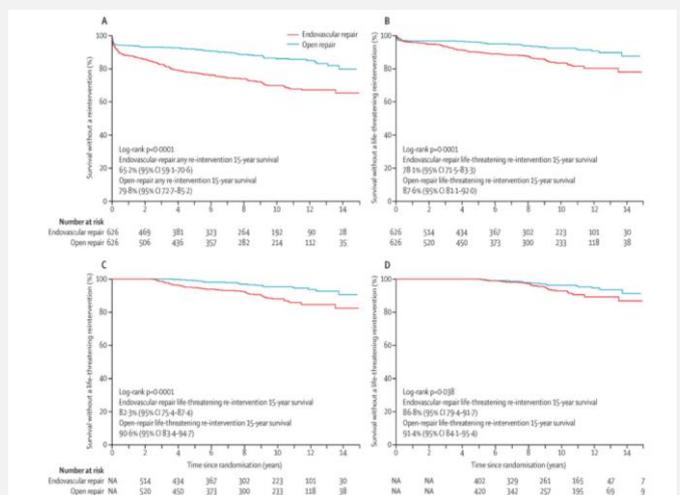
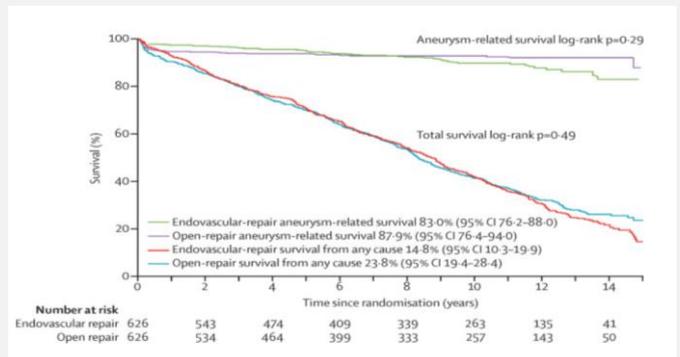


Figure 3 Kaplan-Meier estimates of time to first re-intervention in the EVAR and open repair groups during 15 years of follow-up

文責 前川 浩毅

スタッフ紹介 Vol.15



前川 浩毅

医師

心臓血管外科 科長

2018年 旭川医科大卒

法隆寺の近くで生まれ育ち、関東へ出て6年目になります。生まれた頃から野球を始め、現役時代は『熱闘甲子園』でホームランを打たれる姿が流れてしまいました。まだまだ、修行中の身ではありますが、かわぐちの医療に貢献していきますのでよろしくをお願いします。

